友愛
発行所
友愛青年連盟
東京都文京区音羽 1-7-1
電話 東京(941)2801
発行人 永田清成
編集人 田中恭一
定価 1部 35円

綱領

一、われわれは、自らの基礎にあらゆる相互の協力と連帯を強め、愛社の精神に満ち、民主主義を守り発展のために、全体主義を排除し、日本の国民として公正な意見を確立すべきである。

一、われわれは、科学技術の振興と生産の増強をはかり健康で文化的な福祉国家の建設に貢献する。

一、われわれは、全世界の青年がお互いに手を結び、国際的な友情を深めることによって、もって世界平和と人類の福祉に寄与する。

発展へ意欲燃やす
35中央委 活動改善へ前向きの討議

第三十五回中央委員会は、十月十九日夕刻から二十日昼にかけて王子ケ岳友愛山荘で開催され、上半期活動のすすめ方などについて論議が集中した。二万、議題では、第二十二回全国大会の開催要項の改訂が討議されたが、付加価値とも言える〝全国同志の年一回の交流の場〟の意義をこの様に加味するなど多くの意見が出され、最終的な決議は大会準備会および中央幹任委員会でまとめられることになった。討議全般にて、本連盟の諸活動を一層充実させ、友愛運動を発展させて行こうとする意欲が各出席者員に感じられ、第二十二回大会に向けての活動が期待できる建設的な会議となった。

広報活動の強化と国際活動の内容面での積み上げを急げ

今委員会は、東京以西の委員のより多くの出席を得て岡山県倉敷市の王子ケ岳友愛山荘で開かれた。

十九日は、上半期事業の評価と反省について討議、広報、国際、組織活動関係を中心に意見が出された。翌二十日は、事務局提出の議題に添って①昭和四十九年度下半期事業について、②第二十二回全国大会について、③費助会費の改正についての二項、それに、別議題の①峯井洗友愛山荘の改築のためのカンパ活動、②教育三ケ年計画、③組織活動についてを加え、各議題について審議した。

上半期広報活動では、本連盟に対する社会的な知名度がまだ低く対外関係の維持開拓、組織拡大の面で障害があり、この改善が急がれ、広報資料の充実、委員の強化を当面の対策とする必要があるとされた。国際活動では、海外参加者の研修成果を一層高めるとともにそれを帰国後、本連盟の以後の活動に反映させて行くための方策をさらに検討する必要がある。特に、派遣団相互の内容面での関連性と各回毎の積み上げが重要であり、この点の対策が急務であるとされた。

議題(3)の下半期事業は、二十二回大会の決定に添って実施することとしたが、第五次友愛オーストリア使節団は、受入れ先である OIAD（オーストリア勤労青年連盟＝本連盟の姉妹団体）の事情により年度内実施が困難になって来たため、明年八月頃に延期して行なうことになった。

学習・研修活動は、教育三ケ年計画を基本にして取り組まれるが、本連盟の諸活動に占めるレクリエーション活動の大きさから、レクリエーション指導者養成のためのプログラムが必要であるとの提案があった。これについては、来年度以降の課題として、教育部などを中心に検討して行くことになった。

全国大会の改善については、すでに多くの会員、役員からその必要性が言われて来ていたが、今委員会では、具体的な実施要項についてまとまった意見が出されず、大会準備会、中幹委に最終決定を持ち越すことになった。出席資格の意見では、全国大会の含む要素として三点が出された。①最高決議機関である、②会員の意思発揚の場、③親睦を含む同志の交流の場である。全国大会は①に限定、②、③は別の機会を設けるべきとの意見と、各要素を充分に加味せよとの両意見があり、限られた日程内にそれぞれの意義をどう生かすかで一致したものが出なかった。

費助会費の改正は、財政対策の一環として定期的な費助を得るための「費助会費」制度の一部変更して、個人会員、会友会費に新たに「法人会員」を加えるもの。これは規約の改正となるため、本来大会決議を要するが、早急に実施の必要から次期大会までの暫定措置として中央委員会で決定した。

軽井沢友愛山荘の新築は、財団（日本友愛青年協会）側では資金問題から来年度着工は困難となっている。しかし、現在の施設がかなり老朽化しており、極く近い将来には新建設の必要がある。本連盟としては、東京から交通の便の良い軽井沢に、北海道友愛山荘なみの研修施設を持つことは、運動の発展に資するところ大であるとの認識から、軽井沢山荘新築を促進することにした。

具体的な活動としては会員、会員によるカンパ活動により、意識高揚を図るとともに、財団など各方面に対するアピールを行なう。

組織活動は、下半期も前期の焦点を「機関紙購読者二〇%、会員二〇%増」の年度目標に置き、この達成に、全力を傾けることにした。具体的には各支部で、担当者を決め目標的に会員、購読者獲得に努め、地道な積み上げをして行くことにした。

教育三ケ年計画は、友愛運動を質的に一層高めるため組織強化、活動展開、友愛思想と運動との関連について年次計画を立て指導をすすめようとするものである。今年度と来年度上半期に実施して来たブロック研修会、リーダース・キャンプは、この計画に基づいた内容で取り組まれたものである。

泊食度の受け入れの万、買物、討論会やレセプションの様子、言葉の問題、税関でのチェックのし方、お土産は何を持って行くかなど、最も身近な問題だけに質問も多く出された。

社会は午後六時から行なわれた。席上、石橋副会長から「多くの希望者の中から選ばれたということを充分認識され、大きな成果を上げて事故なく帰るように」との挨拶を受けた。二万、団員側からは、永田書記が代表して決意表明、その後辺常任参与が使節団相談役の梁裕久氏（都連相談役）へ会長よりの各国団体へのメッセージを手渡した。

団員からは抱負が、送る側からは激励と期待（お土産の？）が語られ、なごやかなうちに閉会した。

社会終了後団員は、そろって日本年年館に一泊、最後の打合わせをして翌朝九時二十分、MH八二一便で各国訪問の旅に出発した。

第十次東南ア使節団が出発

第十次友愛東南アジア使節団（団長三浦満喜井友愛山荘管理主事）以下十六名は十一月五日、マレーシアのクアラルンプールへ向った。同使節団は、十回目を迎えた記念すべき派遣団であると同時にテーマとした「アジア青年の連帯のためには」今後本連盟および訪問各国の受け入れ団体の青年が何をして行くべきかを探る大切な目的を持ったものである。このことから、三浦団長のほか、永田清成中央幹任委員長を監督に、また中央幹任委員の中から照井孝中北海道友愛山荘管理主事を相談役として、それぞれ派遣した。団員も若さな活動家であるばかりでなく、経験も長く友愛運動への認識の深い会員が多く加わっており、その成果は期待されるところが大きい。帰国は十一月二十日午後八時十五分マレーシア航空八二一便の予定である。

会長、各国団体へメッセージ

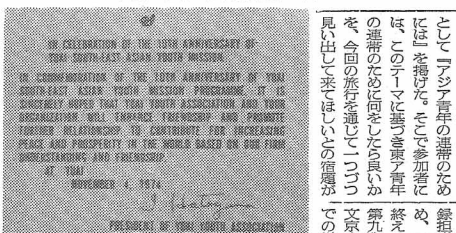
東南アジア使節団（三浦満団長）命および、訪問先各国の様子など以下十六名）の団員研修会および壮行会は十一月五日、鳩山会長邸では、石橋義夫副会長、田辺克育常任参与の列席を得て、一致協力して充分な成果を上げてくるようとの励ましを受けた。席上、鳩山威一郎会長から各訪問国受入れ団体に贈られる「世界の平和と繁栄に貢献することを希求する」とのメッセージが、三浦団長に渡された。

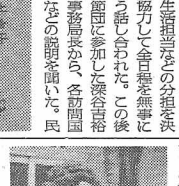
団員研修会は午前十時からはわれ、三浦団長、永田清成監事や役員、団員十六名全員が参加した。参加者全員が、そろって顔合わせるのは二日が初めてとあって、やや緊張した面もちで研修に臨んだ。

友愛運動については、渥部文雄事務局長から活動内容、友愛意想などについて講義があった。基本的なことは、参加者が日常活発な活動家であるため省略、ひとりひとりの認識の差をなくすようにしてすすめられた。国際活動については、田中恭一事務局次長により行なわれた。この講座は、田中恭一事務局次長により行なわれた。今年度の東南アジア交流事業は九月に実施された「指導者セミナー」と「使節団」を組み合わせて取り組まれており、共通のテーマとして『アジア青年の連帯のためには』を掲げた。そこで参加者には、このテーマに基づき東アジア青年の連帯のために何をしたら良いかを、今回の旅行を通じて一つづつ見い出して来てほしいとの指導があった。

深谷吉裕君の話に聞き入る団員
下はメッセージを彫んだパネル

平谷史郎君（尾道支部）を議長に、活動の改善策を真剣に討議する永田委員長と出席者たち




挨拶する川手世話人

なごやかにOB会
二百余名が集い歓談

文化の日十一月三日、あいにくの肌寒い雲り空の下、鳩山邸のお庭で第四回友愛OB会がにぎやかに開催された。会には、本連盟の鳩山威一郎会長、石橋義夫副会長はじめ名誉役員の方々、そして全国から友愛OBの同志諸氏が出席約二〇〇名がお互いの健康を祝い懇親した。

会は、OB会世話人代表しての川手正一郎氏、鳩山威一郎氏らの挨拶をまじえながら、用意されたビールを飲み交わし話しに花が咲いていた。

なお当日は、友愛医療連盟第二回総会も併せて行なわれ、席上同連盟理事長に石橋義夫氏が再選された。

新たな構想のもとに、全思想体系を集大成した決定版
クーデンホーフ・カレルギー全集 全9巻完結！ A5判各一、〇〇〇円

1 クーデンホーフ＝人・思想・行動／パン・ヨーロッパ　鹿島守之助訳編
2 ヨーロッパ国民ヨーロッパの統合／ヨーロッパにおける女性の使命・他　鹿島守之助訳
3 実践的理想主義／倫理と超倫理／人生の戒律　鹿島守之助訳
4 物質主義からの離脱／技術による革命　鹿島守之助訳
5 ヨーロッパの三つの魂／悲惨なきヨーロッパ／ゼントルマン　鹿島守之助訳
6 自由と人生／友愛の世界革命／戦争から平和へ　鳩山一郎 鹿島守之助・深津栄一訳
7 回想録　鹿島守之助訳
8 第一回鹿島平和賞受賞記録／美の国　鹿島平和研究所編・鹿島守之助訳
9 世界的勢力としてのヨーロッパ・他　鹿島守之助訳

友愛青年連盟会長・鳩山　薫
人生に対する心構えや世界の政治、経済、文化の見方を養うために、若い青年男女に是非読んでいただきたい。
NHK前会長・前田義徳
この全集出版の影響が、わが国有識者の国際政治感覚に大きな寄与をすることを確信している。

明日を築く技術 明性と知識 鹿島出版会 東京都港区赤坂6-5-13

クーデンホーフ光子伝
木村毅著 一、〇〇〇円

一八歳でオーストリア貴族へ嫁した明治の女、光子は七人の子の母として三一歳で夫と死別。「ヨーロッパ共同体」の魂を育てたこの母と子の物語りは、すべての人びとを感動させるにちがいない。

体験を大切にしたい

期待のこえ

東南アジア訪問団員

伊藤千恵子　各国の青年達は、我々アジア民族として互いに何を望んでいるのか互いに何を話し合うべきかという問題をそれぞれの人に会い、共に生活して、話し合って、自分なりに考えてみたいと思います。一方、種々の意味で私が尊敬してみたいと思っております。

石鍋　雪江　私にとって東南アジアの国々は同じアジアの中でも遠い所という印象だったので各地で実際に見たり、聞いたりする体験を大切にしたいと思う。第一の目的は、写真でみたり、雑誌で読んだりするのはなく所へ飛び込んでいくことにあるのだから。

猪股　正明　現代、日本の若者が失いつつある「情念」を開発途上国の若者に期待して、又私自信の行動の是非を問うの人間を通して確認したいと同時に、真なる交流が何の媒体もなくできるかを含め、今後の参考にしたい。

岡田　博幸　外から見た日本という観点で、改めて日本人の精神構造のくみいを、東南アジアの人々を通して充分に考察してみたい。近年の対日感情悪化は、私達日本人自身の精神的荒廃から来ているのではないか、そうだとしたら、今からでも友愛の尊さを実践しなければならない。

下川　時代　同じアジアでも隣国の日本と、陸続きの国々、との様な文化面での違いがあるのかを見たいと思います。あまり先入観を持たず、エスコートしてくれる人達に、迷惑をかけず、楽しい旅を、又物価高から少しでも解放されてみたいと思っています。交流とは、何年かの後にその味が出るのだと信じているので、さわやかな交流を作り上げるきっかけを楽しみにしています。

高橋　摩子　友愛を知ってから四年目になります。支部でもいろいろ活動していますが、もっと友愛の大きさ、広さを知りたいと思い参加しました。これを機会に国際活動にも目を向け、友愛精神普及のために、自分自身をもっと成長させて、これからの支部活動のエネルギー源にしたいと思います。

田草川朋美　友愛入会以来、種々の活動を体験し参りましたが、一番の目的である親交流の夢が実現出来るという事で胸がいっぱいです。私なりの見方でもって訪問国を回りこれからの活動に役立つような事を数多く吸収してまいりたいと思っております。

照井　孝由　私の職業から社会教育施設見学と現地の食事のあり方などをよく見てきたいと思います。又社会教育施設等の運営方法が当団にあてはまるかどうか、又観光などもあわせて。

西島　幹人　私が、これへの参加を会社、あるいは家庭で表明した時、皆一様に「目的は？」といかがわしいものでも見る様に聞うたものだ。これは、週刊紙、あるいは経験者のやや話の誇張された面と、発展途上国への蔑視が大きな原因であろうと思われる。今回は既成概念を壊て、二つの目で本当の東南アジア諸国を見て来たいと思う。百聞は一見に如かずである。

翠谷　裕久　東南アジアの教育面、それに伴う障害施設及び生活環境を視察し現日本は先進国とはいえ、未だに何かを習得する事があれば、良いものは良いものとして取り入れるべき点がある事と思う。

松永　宗雄　参加できるのは一人身の内にと今回に参加することにしました。むこうで日本の良さ悪さを見きわめたいと思っています。外国へ行って初めて日本の良、悪がわかると言いますから……。それに隣国の皇室を楽しみにしています。

細川　悠子　ヨーロッパで生活したとき、人間はどこまでいっても同じであると思った、そこから出発して、パン、アジアへの夢が広がってきたが、アジアは互いに共通の文化をもたないし、日本はアジアの一員ではないと考えられるような資料にぶつかった。しかし会って話ることにより、人間はどこまでいっても同じであるこの考えを再び確かめたい。

松浦　直樹　東南アジアへ行って、より多くの人と話して来たい。言葉が分からなければ絵を書いて説明すれば互いに人間だから理解し合えると思う。楽しい旅としたいが、精神的に大変苦労する旅行にしたい。

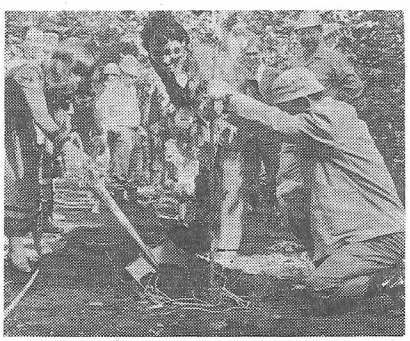
公園に桜三百本

鳩山名誉会長が寄贈

東京、文京区の江戸川橋のたもとから神田川にそって、区立江戸川公園がある。木々に囲まれた静かな公園で去る4月二十三日染井吉野桜の苗木三十本の植樹が行なわれた。

この苗木は、鳩山薫先生が「緑化運動に役立てほしい」と同区に寄贈したもの。当日は、文京区役所から佐藤繁雄助役、奥田定司収入役はじめ土木部長ら十余名、また、この寄贈の仲人役をつとめた春日町区議（財団理事）も列席そうそうたる顔ぶれ。

植樹は、鳩山邦夫君から佐藤助役に苗木の目録が贈られたあと、列席者の手で行なわれ、それぞれ植えられることになっており、やがて桜の名所があちこちに生まれそう。



佐藤助役（右から3人目）らに見守られながら、染井吉野桜の苗木を植樹する鳩山邦夫君夫妻

有楽町線が開通

地下鉄　音羽も便利になりました

本連盟本部のある豊島区、文京区音羽御前の通りに添って走る地下鉄有楽町線は、去る十月二十日に開通した。

開通式は、二十九日に行なわれ本連盟会員の鳩山邦夫君が護国寺駅でテープにはさみを入れた。

同線は、池袋駅と銀座一丁目間を結ぶので、会議など二十分で走る。

有楽町線を利用して本部へ行く場合、池袋駅からは一つ目の護国寺駅で下車、前方の出口を利用すると便利。反対に、銀座一丁目方向からの場合は、有楽町駅、飯田橋駅、市ケ谷駅から乗って江戸川橋駅で下車、前方の出口を出ると江戸川橋交点に出られる。市ケ谷駅では、国電のホームから直接乗り変えができ、一番便利。

十月号で有楽町線の開通を十一月三十日と紹介しましたが、本文記事の通りです。訂正いたします。

中央団誌

深津副会長　北欧より帰国

深津栄一副会長は、本連盟を通じて総理府主管青年海外派遣短期北欧班第一団団長として参加去る十月から約一週間、北欧各国を訪問していたが、十一月八日後一時十六四一便で帰国した。同団は七日に帰国予定であったが、飛行機の故障で一日遅れた。

第七回中常委　新二支部承認

第七回中央常任委員会は、十一月六日本部事務所で開催され、第三十五回中央委員会での決議事項を再確認するとの組み方を協議、また、組織関係で東京で新らたに結成された二支部を承認した。

中央委員会で決定された方針、事業計画等は、各担当執行部で具体的に実施して行くことにした。

今回、新たに結成された支部は東京・荒川区の荒川支部（斉藤孝昭支部長）と友愛舞踏研究会（田草川朋美支部長）である。荒川支部はすでに、結成大会を終え活動を始めている（十月号にて報告）友愛舞踏研究会も約一年前に作られた社交ダンスのサークルが、本連盟の支部として再出発することになったもの。

第一回セミナー　全てが終了す

第一回東南アジア青年指導者セミナー参加のため本連盟の招きで来日していた各国代表のうち、最後まで滞日していたインドネシア代表・アスタワ氏は十月十二日、タイ航空六〇一便で帰国した。これで、同セミナーは全て終了し報告書作りに入ることになった。

10／11　アスタワ氏（インドネシア代表）帰国（於　羽田空港）
19〜20　第三回中央委員会（於　王子ケ岳友愛山荘）
22　宇都宮支部懇談会へ事務局長派遣
31　青少年国際交流振興会設立推進協議会（於　理府青少年対策本部）
11／3　第四回友愛OB会（鳩山会長邸お庭）
4　第十次友愛東南アジア使節団研修会及び壮行会（於　鳩山邸はなれ）
5　第十次友愛東南アジア使節団出発（於　羽田空港）
6　第七回中央常任委員会（於　本部事務所）
7　核兵器廃止平和建設国民会議常任理事会（於　友愛会館）
8　深津栄一副会長帰国＝政府青年海外派遣短期北欧班第一団々長、（於　羽田）
9〜10　九州ブロック研修会（於　福岡市法華クラブ）

訪中レポート

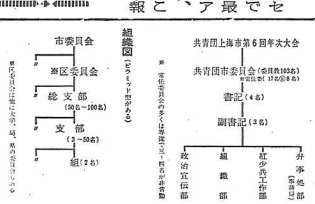
新しい中国を見る

永田　清成

共産主義青年団

我々の旅は、北京を振り出しに天津、西安、南京、蘇州、上海、杭州、広州、その他数ケ所を回り各地でいずれも大歓迎を受けた。その主な、全て中国共産主義青年団の若い人々の接待で、それを指導する各地革命委員会の主任ないし、副主任（日本でいう知事副知事または市長、助役等）らであった。

中国の行政機構は、地方の場合は全て中国共産党中央委員会が頂点となりその下に、各級革命委員会があり、そこに主任、副主任が居る。中国共産主義青年団の場合組織機構はこれに準じており、各市年次大会があって、そこで役員が選出される。通常の行政は、書記、副書記がすることになっている。上海市の場合の図式は次の通りである。



人民公社においては、生産大隊（学部）、生産隊（小組）と位置付けられ、工場においては、作業班が部、大学においては、学部が総支部、クラスが支部として扱われる。

共青団の組織は、中国共産党の指導を受けているが干渉はされず入団するのには、①マルクス、レーニン主義、毛思想を学習し、三大革命運動（階級闘争、生産闘争科学実験）に努力し、②中国および世界に奉仕し、③批判と総合批判をし、④身体を鍛え、祖国を守る意欲を持つという条件があり年齢は十五歳から二十五歳までである。会費は収入の〇・三%から〇・五%と決められており、革命の後継者養成を目的としている。

上海市の場合、二百万人の青年人口のうち六十万人の青年が加入している。入団に対しては、厳しい審査があり、数は増やしたいとのことである。

活動は、週一回の例会と、紅少兵の指導や青雄組、紅蜂組等の学習グループを指導したりしている。

共青団員は、常に人民の模範となる行動をし、現在は毛主席の教えを実行してベトナムにシャベルを送る運動を進めている。そして、二年後に開催される中国共産主義青年団第一回全国大会に向けて、全国各地で組織作りが進められている。

つづく

南京市長江大橋前で共青団の青年たちと訪中団員

友愛新聞を購読しよう

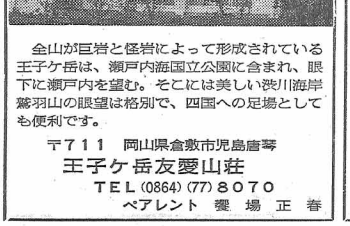
友愛新聞は

一北の友、南の友が語らう場。
一みんなが作り、みんなが主張する。
一正しい世界観を育み心豊な青年を創る。
一明るい日本、平和な世界を建設する。

友愛の使命

自由のための革命が立往生、平等のための革命が失敗した後を受けて、今や国家と国家の間、階級と階級との間に橋梁を架し、もって彼らの全部に対して自由なる人間が四海同胞たることの福音を伝えるであろう。――故カレルギー名誉会長著「自由と人生」より

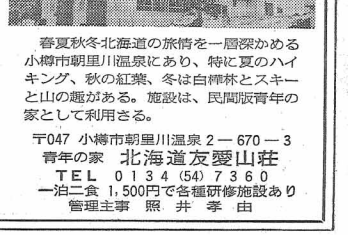
申込先　友愛編集局宛
会員以外の方でも年間４００円の購読料で新聞購読会員になれます。



王子ケ岳友愛山荘

金山が巨岩と怪岩によって形成されている王子ケ岳は、瀬戸内海国立公園に含まれ、眼下に瀬戸内を望む。そこには美しい渋川海岸鷲羽山の眼望は格別で、四国への足場としても便利です。

〒711　岡山県倉敷市児島唐琴
王子ケ岳友愛山荘
TEL (0864) (77) 8070
ペアレント　甕場正春



北海道友愛山荘

春夏秋冬北海道の旅情を一層深かめる小樽市朝里川温泉にあり、特に夏のハイキング、秋の紅葉、冬は自神林とスキーと山の趣がある。施設は、民間版青年の家として利用さる。

〒047　小樽市朝里川温泉２―670―3
青年の家　北海道友愛山荘
TEL　0134 (54) 7360
一泊二食 1,500円で各種研修施設あり
管理主事　照井孝由